

口腔の健康の保持・増進に関する健康格差の縮小の実現

【歯科疾患の予防】

- a2** 3歳児でう蝕のない者の増加
- a2** 12歳児でう蝕のない者の増加
- a1** 中高生における歯肉に炎症所見を有する者の減少
- a2** 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の減少
- c** 40歳代における進行した歯周炎を有する者の減少
- a2** 40歳の未処置歯を有する者の減少
- a2** 40歳で喪失歯のない者の増加
- a2** 60歳で未処置歯を有する者の減少
- c** 60歳代における進行した歯周炎を有する者の減少
- a1** 60歳で24歯以上を持つ者の増加
- a1** 80歳で20歯以上を持つ者の増加

【生活の質の向上に向けた口腔機能の維持・向上】

- b** 3歳児で不正咬合等が認められる者の減少
- b** 60歳代の咀嚼良好者の増加

【定期的に歯科検診又は歯科医療を受けることが困難な者】

- c** 障害(児)者入所施設での定期的な歯科検診実施率の増加
- b** 要介護高齢者・介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施率の増加

【歯科口腔保健を推進するために必要な社会環境の整備】

- a2** 歯科検診の受診者の増加
- a1** 3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県の増加
- a1** 12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県の増加
- a1** 歯科口腔保健の推進に関する条例を制定している都道府県の増加

<改善状況についての評価> a1:改善しており、目標を達成している a2:改善しているが、目標は達成していない b:変わらない c:悪化している